

## 理学部

### 【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

城西大学理学部は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき、理学の本質を論理的・実証的に解析、考察する能力を持ち、地域社会や国際社会の持続的な発展に貢献できる人物を育成します。本学科で学んだ学生がこのような人間に成長したことを、以下の資質・能力を身につけたかという視点で評価し、各学科の学位授与方針に従って卒業認定を行い、学士の学位を授与します。

### 学修目標

1. 学問における学びにおいて、高い思考力・判断力を形成するとともに、倫理観と責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
2. 理学部での数学や化学の学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
3. 理学部での数学や化学の学びを通して、実社会における自然科学や科学技術の発展に、主体的かつ協働的に貢献するための数学や化学の知識・技能の基礎を有している。

### 【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

城西大学理学部は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき定めたディプロマ・ポリシーに示す学修目標に、全ての学生が到達するように、以下の方針でカリキュラムを構築します。

1. 人間形成の過程で必要となる学びを提供するために、物事を多角的に捉える力、社会と学問との接点を探究する姿勢、人類文化社会へ貢献するための意識を養うという視点で全学共通カリキュラムを策定し、そのために必要な全学部共通科目を含む必修科目を学生の段階的な成長を促すように設定する。その評価は自己評価を基本とし、長期型ルーブリック\*を用いた評価をポートフォリオ\*に蓄積して学生自身による振り返りを促すとともに、教員による学びの促進を意図した形式的評価を随時実施する。

\*長期型ルーブリック：ルーブリックは、学習目標の達成段階を質として表した表で、長期型ルーブリックは、入学から卒業までの成長を継続的に評価するのに有効なツールです。

\*ポートフォリオ：学習成果物を時系列に沿って蓄積していったファイルで、学生の段階的な成長を確認するために有効なツールです。

2. “協創”による社会問題の解決に取り組むために、全学部の学生が協力して課題解決を創造する「学内外連携授業」を必修科目として各学年に設定する。その評価には、教員による評価だけでなく、ルーブリックを用いた自己評価・ピア評価など多様な視点を取り入れ、学習の成果物はポートフォリオに蓄積して、自身の振り返りを促す。英語力については、大学共通基本科目である「コミュニケーション基礎英語」において、習熟度別のクラス編成を実施して、個人のレベルに合った学習を可能にする。

る。

3. 理学の柱となる数学科と化学科において、綿密な論理構成と数学的な思考法、または化学的思考能力と実験技術を併せ持ち、複雑な実社会に対応できる科学的な思考力を獲得するという視点でカリキュラムを策定する。その評価方法には、学生の学習活動の改善を目的とした形成的評価を取り入れ、学期末に記述式試験を実施するだけでなく、各科目の特性に合わせた様々な評価方法を適用して、合否判定を伴う総括的評価を実施する。その成果については GPA を用いて学生に対してフィードバックを行う。具体的には、各学科で設定した「必修の専門科目」において、各学科で求める専門的な知識・技能の基礎を身につける。そして、それらを地域社会や国際社会において役立てることができるように、「数学セミナー」や「卒業研究」、「化学ゼミナール・コロキウム」を最先端の知識・技術の学びの場として設定する。この他に、情報関連科目を含む「選択の専門科目」を設定し、これらの科目を組み合わせて学ぶことにより、より深く、また幅の広い専門性を培う。

また、理学部での学びで得た知識・技能を他者への教育という観点から地域社会等へ貢献することを希望する者のために、教員養成を目的とした教育の基礎的理解に関する科目と教科及び教育の指導法に関する科目を設定する。その評価は教員養成に重要なアクティブラーニングを取り入れた形成的評価によって行う。さらに、各科目の特性に合わせた様々な評価方法を適用して、合否判定を伴う総括的評価を実施する。また、「履修カルテ」において自己評価を行い、ポートフォリオとして活用する。

### 【アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）】

城西大学理学部は、自身の発見や自身を大きく成長させるために必要な学びを提供し、物事を多角的に捉える力、社会と学問との接点を探究する姿勢、社会貢献への意識を養う教育を行います。そのため以下の資質・能力もしくは志向を有する人に入学を期待します。

#### 求める人物像

1. 多様な事象に興味を持ち、人々の暮らしにおける課題・ニーズは何かという視点を持って、社会のルールに従って、責任感を持って行動し、自己の理想に向かって学ぶ意思を有する人
2. 他者との対話を通して自らを高め、他者と協力して社会の課題に取り組む意思を有する人
3. 理学部の特徴を理解した上で、各学科（情報数理学科、数学科、化学・生命科学科）での関連学問分野に興味があり、専門知識・技能を高める意欲を持ち、そのために必要な基礎学力と専門教育に関する教科・科目の学習に取り組んでいる人

理学部では各学科のアドミッション・ポリシーに基づき、多様な形態の入学試験によって、学力の三要素、すなわち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」などの資質・能力を評価し、各学科の教育目的に相応しい人材を選抜します。

※ 各種選抜試験については各学科のアドミッション・ポリシーを参照してください。

(2027年4月入学者用)